人物の設計からキャラクターシートへ

編集できる設計軸で、見た目・性格・演技の条件を具体化します。

AI Character Sheet Makerは、人物の名前、身体、顔、髪、衣装、役割、口調、画風などを組み合わせ、人物シートや設計プロンプトを作るアプリです。保存したシート画像を物語や漫画の制作へ渡します。

作業	このマニュアルの案内
人物の設計とロック	2ページ
画像生成・比較・保存	3ページ
設計プロンプトと漫画への受け渡し	4ページ
画像読み込みと関連アプリ	5ページ
AI通信の緊急停止	6ページ

本書は候補ソースv1.5.8の操作説明です。公開版は画面と配布先で確認してください。各APIの生成結果や人物再現を保証するものではありません。

Character Sheet Makerを開く →

人物を設計し、残したい項目をロックする

画像化する前に、名前と識別できる外見を確認します。

1. APIゲートでGeminiまたはOpenAIを選び、対応するキーを入力します。OpenAI文章モデルは8候補から選べ、既定はGPT-6.1 Solです。選択モデルから下位の候補へ切り替える経路を持ちます。

2. 身体・精神、顔と髪、装飾、衣装・装備、画風、ポーズ、ロール・口調、漫画演出、自由記述の欄を編集します。名前、年齢感、髪、体格、衣装など、人物を区別する項目を具体化します。

3. 変えたくない項目はロックします。プリセット、ランダム化、AI文章生成を使う場合も、変更を望まない条件を先に確認します。

4. 「キャラ固定」では人物像を保持して見た目のテーマを試し、「固定解除」で完全なプリセット適用へ戻します。必要に応じてAIに名前や台詞、性格等の文章詳細を作らせ、生成後に読み直します。

「テキストCopy」は画像生成用の設計プロンプトをコピーします。漫画アプリの人物説明欄へ全文を貼る操作ではありません。漫画・物語への通常の連携には保存したキャラクターシート画像を使います。

シートを生成し、比較・保存する

最終画像を確認してから下流のアプリへ渡します。

画像生成では選択プロバイダーへ設計を送ります。OpenAIはGPT Image 2.6 Sunburst / xhigh、GeminiはNano Banana 2.1を使う経路です。画像モデルの自動切替を前提にせず、エラーと利用可能性を確認してください。

フォームから生成するシートは日本語プロフィールを合成し、プロバイダーの絵を切り抜かずその下へ収めます。最終PNGは1120×1584です。顔、髪、衣装、名前、プロフィール、複数の描像の対応を実画像で確認します。

A/Bモードでは二つのスロットを比較できます。履歴サムネイルから以前の画像を表示し、採用したものを保存します。画像の見た目が違う場合は、設計と生成画像のどちらが異なるかを分けて確認します。

PNG保存は画像資料用、設計プロンプトの保存は画像生成を再利用するためのものです。生成PNGには版付き設計情報を埋め込む仕組みがあります。画像ファイルそのものも保管してください。

画像生成、解析、AI文章の追加はAPI利用料が発生する場合があります。A/Bの比較表示と新規生成を区別し、ボタンの処理内容を確認します。

シート画像を物語・漫画へ渡す

通常の連携は、保存した同じシートを両アプリへ読み込む方法です。

生成したキャラクターシートをPNGで保存します。Story Makerでは「登場人物」の画像ドロップへ読み込み、漫画アプリではSTEP1の素材画像として同じシートを読み込みます。サイトを開くだけで画像が転送されるわけではありません。

「テキストCopy」は画像生成用の設計プロンプトです。シート配置、画風、文字や背景等の画像生成指示を含むため、漫画アプリの人物設定欄へこの全文を貼り付けないでください。

Story Makerで漫画シナリオを作った後は、台本だけを漫画アプリのSTEP2「生成されたシナリオ」へ貼ります。その後STEP3で画像指示文を作り、STEP4で画像を生成します。

内容	渡し先
保存した人物シート画像	Story Maker「登場人物」の画像ドロップ
同じ人物シート画像	漫画アプリのSTEP1素材画像
Story Makerの漫画台本	漫画アプリのSTEP2「生成されたシナリオ」

画像なしで作る人物設定テキストや分割コピーは、Story Maker側の条件付き連携です。
Character Sheet Makerに漫画用人物設定の専用コピーボタンはありません。

画像から復元する・関連サイトを開く

設計情報の有無によって、復元とAI推定を区別します。

このアプリで生成し設計情報が入ったPNGを結果欄へドロップすると、その画像を表示し、埋め込まれた正確な設計プロンプトを復元します。設計情報がないPNGやJPG/JPEGは、AIによる画像からのプロンプト推定を使います。

AI推定は元の作者の設計データを取り戻すものではありません。画像と推定内容を読み比べ、名前・外見・衣装等が確かな情報かを確認してから再利用してください。

関連アプリのStory Makerでは物語や漫画シナリオを作り、Super FURU AI 4-koma Systemでは人物設定と台本を画像化します。ボタンは別タブで開きます。画像・文章を自動転送せず、保存・コピーで手動で渡します。

Story Maker →

Super FURU AI 4-koma System →

Character Sheet Maker API設定ガイド →

AI通信を緊急停止する

赤い停止ボタンは、思考・生成・応答受信中だけ操作できます。 待機・完了・停止・エラー後はグレーで無効になります。

API設定前の画面には停止ボタンを表示しません。起動後、画面右上の赤い「緊急停止」を押すと、進行中のAI通信と応答の受信を止めます。待機中と停止した後は非活性です。

入力内容と、すでに取得・採用した結果は保持します。停止した実行で別モデルへ切り替えたり、後続処理を始めたりしません。遅れて届いた結果も画面へ反映しません。

再び処理したいときは、目的の生成・解析の操作を改めて押してください。停止した実行の終了処理が、新しい実行を解除することはありません。

送信済みの処理は提供元で継続し、課金される場合があります。緊急停止は、生成料金の取り消しや提供元サーバーの処理終了を保証する機能ではありません。